

1

特集

令和6年度入学式を挙行

Vol. **40**
August
2024

—Suica開発者 椎橋章夫氏による特別講演で新入生へエール—

4月3日(水)、令和6年度埼玉大学入学式がさいたまスーパーアリーナにて行われました。この日、学部・大学院合わせて2,346名の新入生を埼玉大学(以下、「本学」という)へ新たに迎えました。

坂井貴文学長は式辞で「自分の価値観を鍛え、答えのない問題にも向き合うことが学生時代に皆さんが取り組むべきこと」とし、「大学での学びを大切に、これからの日々をぜひ実り多きものにしてほしい」とエールを送りました。

そして特別講演では、Suicaの開発者で東日本旅客鉄道株式会社顧問であり、埼玉大学フェローの椎橋 章夫氏による「Suicaペンギン空を飛ぶ!—新しい社会インフラ創造への挑戦—」と題した講演が行われ、Suica開発の道のりやSuicaを活用する新しい事業の構想など、これからの社会を担う新入生に向けたお話をいただきました。

式典には約1,300名の保護者の方々にもお越しいたき、多くの方に見守られる中、新入生は期待に満ちた表情で埼玉大生活のスタートを切りました。



▲会場の様子

式次第

- 一、開式の辞
- 一、学長式辞
- 一、理事等紹介
- 一、学部長等祝辞
- 一、入学生代表宣誓
- 一、特別講演

「Suicaペンギン空を飛ぶ!
—新しい社会インフラ創造への挑戦—」
東日本旅客鉄道株式会社顧問
椎橋 章夫氏(埼玉大学フェロー)

・閉式の辞



▲式辞を述べる坂井学長



▲特別講演 東日本旅客鉄道株式会社顧問 椎橋章夫氏

2
教育

学長発案の講義にてゴルゴ松本氏による「命=心」の講義を開催

教養・スキル・リテラシー科目「死のデュナミスと生のエネルギー」は、「学生たちに、死について考えることを通じて生の意義を再確認し、生きるエネルギーを得てほしい」という坂井学長の発案で、昨年度から開講しています。

5月10日(金)の講義ではタレントのゴルゴ松本氏をお招きし「命=心」をテーマに、漢字や日本語の成り立ち・歴史なども交えながら、生きるものの意味・価値について、学生らへ熱いメッセージを送りました。

坂井学長が埼玉県内の高校で教鞭をとっていた際、ゴルゴ松本氏が在学していたことが縁となり、今回の講義が実現しました。



▲講演するゴルゴ松本氏



▲ゴルゴ松本氏と坂井学長がやり取りする場面も

3
教育

学生の健康とキャリアを応援！ 100円朝食・朝活プロジェクトによる企業講演実施

本学では、5月13日(月)～8月2日(金)までの期間に、100円朝食・朝活プロジェクトを開催しました。このプロジェクトでは、学生食堂を運営する埼玉大大学生活協同組合の協力を得て、栄養バランスの取れた朝食を安価で提供し、健康な生活をサポートするとともに、学修意欲の持続・向上させることを目的としています。さらに、学生が朝食を楽しむ中で、本プロジェクトに協賛いただいた企業が自社のPRを行うことで、学生の企業への関心を高める取り組みも行われており、6月12日(水)は株式会社埼玉りそな銀行が企業講演を実施し、学生たちと交流を深めました。



▲講演を行う、埼玉りそな銀行採用ご担当者



▲会場の様子



▲朝食をとりながら熱心に講演を聞く学生

4
国際

文化と知識の交流-インド大使館が貴重な書籍を寄贈&ヨガ講義実施

5月9日(木)、インド大使館からKanika Aggarwal ヴィヴェーカナンダ文化センター所長が本学を訪問され、インドの文化や歴史等を紹介する文献26冊を本学に寄贈いただきました。寄贈式では、坂井学長がヒンディー語を交えた挨拶を行い、さらに、「世界をリードするインドに興味関心をもつことが、本学の目指すグローバル人材育成に繋がる」と感謝の意が伝えられました。今後の本学とインドとの交流を深化・発展していくことについて意見交換も行われ、寄贈式終了後は大学会館にて、Kanika Aggarwal 所長によるインドに関する講話と、Sanjay Kumar 氏による「ヨガの精神と実践」と題した特別講義が行われました。参加した学生は、慣れないヨガのポーズに戸惑いながらも次第に身体がほぐれていく様子で、本場のヨガの醍醐味を十分に味わうことができました。寄贈いただいた図書については、図書館ラーニング commons の国際交流コーナーに配架されています。



▲図書館国際交流コーナー



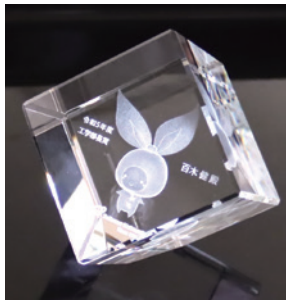
▲「ヨガの精神と実践」特別講義

◀寄贈された本を手記に撮影
(前列左から) 坂井学長、Kanika 所長 (後列左から) 加藤顧問、市橋副学長、川合図書館長、野中理事、Sanjay ヨガ講師、石井理事

学びと成長の証—令和5年度工学部長賞表彰

6月19日(水)、令和5年度埼玉大学工学部長賞の表彰式が行われました。この賞は、学士課程卒業後に大学院進学を予定している卒業生のうち、優秀な成績を収めた学生を表彰するもので、令和5年度は機械工学・システムデザイン学科卒業で、本学大学院理工学研究科へ進学した百木 健さんが受賞しました。

表彰式では、奥井義昭工学部長をはじめ、山本浩機械工学・システムデザイン学科長と指導教員の長谷川圭介講師が出席され、激励のメッセージとともに表彰盾と副賞を授与しました。



▲埼玉大学マスコットキャラクターメリンちゃんが刻印されたクリスタル盾



▲(左から) 長谷川講師、百木さん、奥井工学部長、山本学科長

子育てと仕事・学業の両立をサポートする新しいオアシス「さいだいメリンルーム」開設

6月11日(火)、子育て支援スペース「さいだいメリンルーム」が、本学学生会館2階(旧ラーニングコモンズC)に開設され、お披露目会が実施されました。

さいだいメリンルームは、主に子育てをしながら働く教職員や大学院生・学生が、勤務中や授業中に一時的に学内で子どもを預けたり、授乳や子どもとの休憩などに利用したりできるスペースとして開設されました。当日は本学の教・職員を中心に約30名がルームを見学し、期待の声が寄せられました。



▲さいだいメリンルーム全景

災害リスクに挑む—社会変革研究センターレジリエント社会研究部門を設置

4月1日(月)、本学研究機構社会変革研究センターにレジリエント社会研究部門を設置しました。レジリエント社会研究部門は、頻発化・激甚化する豪雨災害や、東日本大震災をはじめとする地震災害など、我が国が抱える大きな災害リスクに対し、インフラ強化によるハザードの抑制とともに、災害リスクコミュニケーションなどのソフト対策によって社会の脆弱性を克服することをミッションとしています。

真のレジリエント社会構築のため、地震工学、河川工学、斜面防災、交通工学、インフラ保全、地理情報システム、予測シミュレーション、ジェンダー・多様性の視点を取り入れた防災等の様々な領域を「情報・デジタル」と融合・発展させ、「DXを高度に活用した災害対応」できる社会の実現を地域自治体や企業等と連携して目指します。



川本健教授がベトナム教育功労章と名誉教授称号を受賞

5月6日(月)、理工学研究科 川本健 教授(研究機構 戦略的研究領域 循環型ゼロエミッション社会形成研究領域)が、ベトナム教育訓練省(Ministry of Education and Training)からベトナム教育功労章(Medal for the Cause of Education in Vietnam)を授与され、さらに、ハノイ国立建設大学(Hanoi University of Civil Engineering; HUCE)から同大学初となる名誉教授(Honorary Professor)の称号を授与されました。これらは、JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)「研究課題名：ベトナムにおける建設廃棄物の適正管理と建廃リサイクル資材を活用した環境浄化およびインフラ整備技術の開発」を軸にした長年にわたる本学とHUCE間の教育、訓練、科学研究協力への川本教授の貢献を称えるものです。

式典には、JICAベトナム事務所菅野祐一所長、ハノイ市マック・ディン・ミン 建設局副局長等が臨席、HUCEを代表して、グエン・ディン・ティ大学評議会議長、ホアン・トゥン学長、ファム・ズイ・ホア前学長他が出席されました。

授賞式で、トゥン学長からは「埼玉大学は、20年以上にわたる本学の特別なパートナーであり、その基礎を作り、発展させてきたのが川本教授です。HUCEには彼の教え子がたくさんいます。今後も両学のさらなる連携を強化したい」との言葉をいただき、川本教授からは「ベトナムと日本のさらなる友好関係を促進するためにも、本学とHUCEの継続的な研究・教育交流に粘り強く取り組み、今後もベトナムの持続的成長のために貢献していきたい」との決意が表明されました。



▲(左から)ホアン・トゥンHUCE学長、川本教授、グエン・ディン・ティHUCE大学評議会議長

歴史と感謝を胸に —教育学部附属小学校創立150周年記念式典開催

6月10日(月)、本学教育学部附属小学校創立150周年記念式典が校内で盛大に行われました。式典には多くの関係者が集い、歴史と未来へ思いを馳せる感動的な一日となりました。

式典第一部での学校長式辞では、石上城行校長(本学教育学部教授)が、歴代の保護者、同窓会、後援会、地域の方々、そして関係者の支援に深い感謝の意を表しました。次に実行委員長の田所豊氏(ダイヤモンド☆ユカイ氏)の挨拶があり、2年にわたる準備期間を振り返り、無事開催できたことに感謝の意を示し、自身の楽曲「ムクロジの木」が記念合唱曲となったことへの思いを語りました。大学からの挨拶では、坂井学長・戸部秀之教育学部長が、埼玉の教育および児童の未来へ寄与する決意を述べ、また、多くのご来賓からお祝いの言葉と児童たちへの激励のメッセージをいただきました。

第二部では、150周年スライド上映が行われ、附属小の歴史を振り返る映像とともに、これまでの歩みと多くの思い出に感慨深い時間となりました。

最後に、特設合唱団による「ムクロジの木」の演奏が行われ、参加者全員が心を一つにして歌声を響かせ、感動に包まれながら式典は幕を閉じました。

これからも附属小は未来を担う児童たちの成長を見守り続け、次の150年に向け歩んでまいります。



▲石上城行校長



▲田所豊実行委員長(ダイヤモンド☆ユカイ氏)



埼玉大学基金室より 埼玉大学基金のご案内

埼玉大学基金は平成25年11月の設立以来、皆さまからのご理解とあたたかいご支援をいただいております。現在、下図のとおり大学の機能強化、学生支援の充実を目的とするご寄附を幅広く受け入れております。

ご寄附の方法として、金融機関からの振込・払込のほか、指定の月に決済が行われる継続寄附も可能なクレジットカード決済をご用意しております。

また、不要となった本やDVD等をお送りいただくことで、その査定額をご寄附いただけるリサイクル募金「きしゃぼん」を導入しております。

今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

埼大みらい基金

教育・研究に関する支援

- ・教育プログラムの整備充実等
- ・国際的研究力の向上等

キャンパスの環境整備に関する支援

- ・安全・安心・快適なキャンパス整備等

国際交流事業への支援

- ・海外留学の促進等
- ・外国人留学生受入促進等

社会連携事業への支援

- ・地域・社会との連携充実等
- ・企業との連携強化等
- ・埼玉大学生広報サポーター活動支援

学生への奨励事業に関する支援

特に優秀な学生への給付型奨励金制度の創設

冠奨学金基金

寄附者の方の想いに沿った奨学金制度を創設

一定額以上(30万円以上)を寄附した寄附者(法人・個人)が、奨学金名称、奨学金の額及び対象学部等を設定いただけます。

特定基金

埼玉大学修学サポート基金

経済的理由により修学に困難がある学生等の支援

- ・授業料・入学金減免事業
- ・奨学金事業
- ・海外留学支援事業
- ・TA・RA事業

◆埼玉大学基金へのご寄附の累計額

令和6年 6月末の状況 **702,849,248円**

うちリサイクル募金「きしゃぼん」によるご寄附 **1,565,744円**



詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.saitama-u.ac.jp/funds/>

埼玉大学基金

検索

お問い合わせ先 埼玉大学基金室(総務部広報渉外課内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

